

# 英語を楽しく

☆ I'm sorry to be late. は正しい文でなかった。

いつだったか外国の人に会うとき時間に遅れ「遅れてすみません。」と英語で言わなければならない時があった。その時確か、I'm sorry to be late. と言った記憶があります。間違った英語を話していたわけです。相手の人はどう思ったかわかりませんが、注意された記憶がないところから思うと大した間違いでなかったかも。

さて、時間に遅れた場合の「遅れてすみません。」は、正しく言うと、

I'm sorry I'm late. です。

ただ、① 遅刻以外の今やっていることについて謝ること

② これからやろうとすることについて謝ること

には I'm sorry to + 動詞の原形 を使います。例、

③ I'm sorry to disturb you.

おじゃましてすみません。



旅先では、道に迷ったときとか駅の方がわからないとき、現地の人に道を聞くことがありますが、そんな時、次のような文を使いますね。

Excuse me, I'm sorry to disturb you.

「すみません。(声をかける人が話していても道を歩いている人であっても)

申し訳ないのですが」と言ってから、

④ Where can I get the bus stop of Kobe Station line?

「神戸行のバス停はどこにありますか?」と訪ねます。

⑤ I'm sorry to say I can't help you.

「お手伝いできなくて申し訳ありません。」

I'm sorry の使い方

・現時点より前のことは → I'm sorry that~.

・これからすることで迷惑をかけるとき → I'm sorry to+ 動詞

豆知識 英語でよくみかける [ to ] とは、未来を表現する重要単語

・ I go to school 学校に着くのは出発した時点では未来こと

・ I'm sorry to disturb you. 迷惑かけるのは、現時点から後(未来)のこと

・ I have to finish my work. 仕事が終わるのは、現時点より後で、仕事をおえる状態にすることを持つ状態にする=しなければならない